

平成25年度 決算報告

特集2

町制 100 周年に向けた第一歩

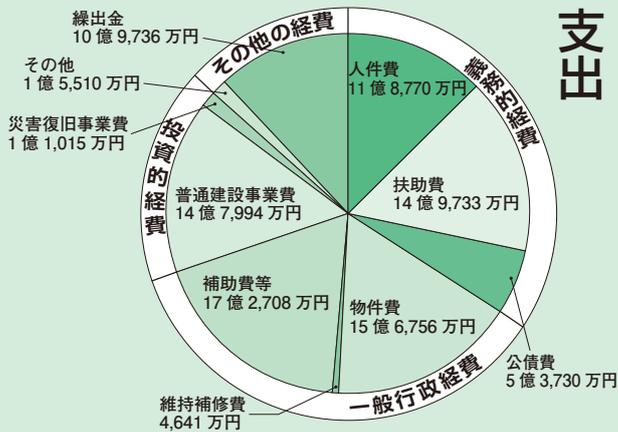
「今できること、今しなければなら
ないこと、今しかできないこと」に取り
組んだ1年

9月の定例議会で、平成25年度の一般会計と3つの特別会計、2つの公営企業会計の決算が認定されました。今回の特集では、その主な内容を紹介いたします。

問い合わせ 総務課へ

94 億 593 万円

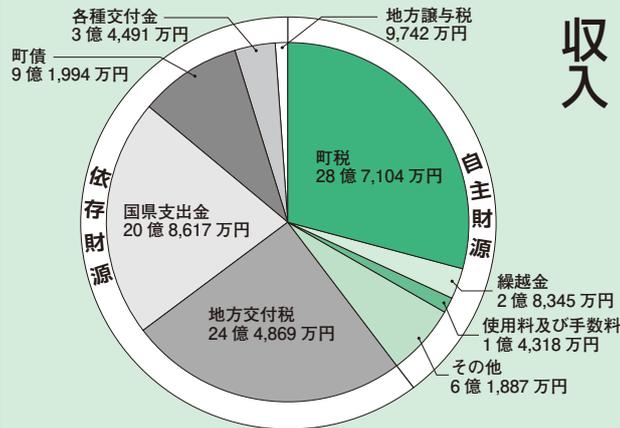
支出



人件費などの義務的経費が全体の34%となっています。また、普通建設事業費などの投資的経費が約15億9,000万円で全体の17%となっていて、前年度と比較して約6億1,000万円増加しています。

98 億 1,367 万円

収入



内訳は、国や県からの支出金や、地方交付税などの依存財源が60%、町税や繰越金、使用料、手数料などの自主財源が40%です。

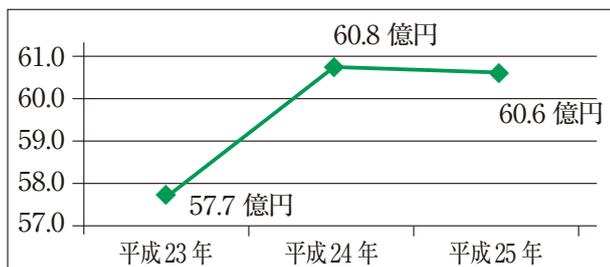
一般会計

基金

町の貯蓄残高は 60 億 6,136 万円

将来の公共施設整備や町債償還など、条例で定めた目的のために資金を積み立てたものです。

平成25年度末の残高は60億6,136万円で、前年度と比較して2,323万円減少しています。



財政用語解説

◆収入

自主財源	町税や使用料・手数料など町が自主的に得ることができる収入
依存財源	地方交付税や国庫支出金など国や県の決定により割り当てられる収入

◆支出

義務的経費	人件費、扶助費、公債費のことで、その支出が義務づけられ任意に削減することが困難な経費
一般行政経費	物件費、維持補修費、補助費等のことで、住民の安全・健康、福祉の維持向上を図るための行政事務の経費
投資的経費	普通建設事業費、災害復旧費のことで道路や学校の整備など、その支出の効果が資本形成に向けられる経費
その他の経費	基金への積立金や特別会計への繰出金など

健全化判断比率・資金不足比率

町の財政状況を数値化して、国が定めた基準と比較しています。数値が小さいほど良好な状況を表します。

(単位：%)	岡垣町	早期健全化基準※6	財政再生基準※7
※1 実質赤字比率	-	14.38	20.0
※2 連結実質赤字比率	-	19.38	30.0
※3 実質公債費比率	4.9	25.0	35.0
※4 将来負担比率	-	350.0	
※5 資金不足比率	水道事業	-	20.0
	下水道事業	-	20.0

※赤字額が生じない場合は「-」で表示しています

町の財政状況は健全です

各種指標の用語解説

- ※1 普通会計の赤字から財政運営の深刻度を表す
- ※2 すべての会計の赤字から財政運営の深刻度を表す
- ※3 借入金の返済額等の大きさから資金繰りの危険度を表す
- ※4 町が抱える負債の残高から将来財政への圧迫度を表す
- ※5 企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度を表す
- ※6 一定の基準値を超えた場合、早期健全化計画を作成し、自主的に改善する必要がある
- ※7 一定の基準値を超えた場合、財政再生計画を作成し、国などが関与して再生に取り組まなければならない

◆実質収支は、

2億9千529万円の黒字

一般会計の収入と支出の差引額から平成26年度に繰り越す必要がある財源の1億1千245万円を除いた実質収支額は2億9千529万円の黒字となりました。このうち、5千万円を財政調整基金に積み立て、残りの2億4千529万円を平成26年度に繰り越しました。また、岡垣町の財政状況を示す各種財政指標も良好な数値を保っています。

◆将来に向けて

着実に前進した1年

岡垣町では、人口減少が大きな社会問題となっている中で、定住人口や交流人口の増加に向けて重点的な取り組みを始めました。また、JR海老津駅南側道路等整備事業をはじめとした都市基盤の整備を進め「第5次総合計画」に掲げる将来像の実現に向け各施策に取り組み、着実に前進した1年となりました。

◆各種施策の取り組み

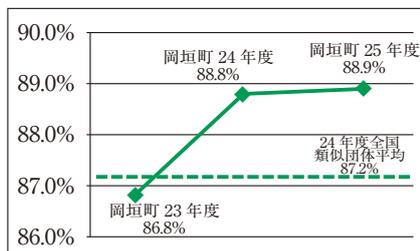
平成25年度は、第5次総合計画に掲げる「輝き」「安心」「心の豊かさ」をキーワードとする将来像の実現に向けて、各種施策に着実に取り組みました。それぞれのキーワードごとの取り組みは、6ページ以降で紹介いたします。

経常収支比率

前年度から0.1ポイント上昇の88.9%

財政状況の余力を示す数値です。人件費などの経常的に支出される経費と町税などの経常的に収入される一般財源との比率で、数値が低いほど財政状況に余力があるとされています。岡垣町の比率は、88.9%で平成24年度の※全国類似団体の平均数値(87.2%)を上回っています。

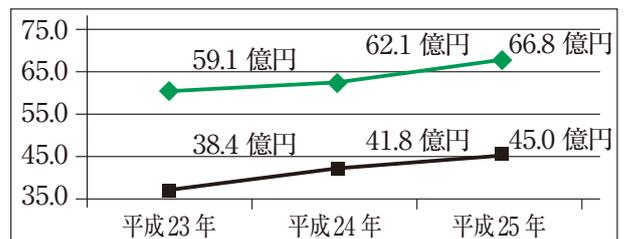
※全国類似団体
岡垣町に近い人口と産業構造をもつ団体



町債

町の借入金残高は66億8,484万円

施設整備などの事業資金を借り入れて住民負担の世代間調整をするものと、地方交付税の不足分を町が肩代わりして借り入れた臨時財政対策債となります。平成25年度の借入金残高は66億8,484万円で前年度と比較して4億7,807万円増加しています。



◆町債合計 ■町債のうち臨時財政対策債

第5次総合計画の 実現に向けて取り組みました

平成 25 年度の主な事業の成果を第 5 次総合計画の 3 つの将来像ごとに紹介します。

輝き ー自然の恵みを守り活かし輝くまちー

岡垣町観光ステーション 北斗七星の整備

※1 2,993 万円

老 朽化していた波津海水浴場休憩施設を解体し、岡垣町観光ステーション北斗七星として整備を行い、平成 26 年 7 月にオープンしました。この施設は福岡県産の木材を使用し、温かみのある施設となっています。また、岡垣町観光協会の事務所が入居し、今後はこの施設を拠点に積極的に観光事業を展開する予定です。



豊かな自然環境を守り育てる取り組み

396 万円

豊 かな自然環境を守り育てる取り組みとして、三里松原の松枯れ対策のため、住民との協働による松葉かきや松苗の植樹を行いました。また、三里松原の海岸浸食対策として、芦屋町と連携し、海岸を管理している県に対して要望を行いました。



農業振興

3 億 624 万円

農 業生産の基盤となる用排水路、排水施設、ため池などの補修、維持管理を行い、安定した農業経営のできる環境を整備しました。また、青年就農給付金などの就農者支援を行いました。



■ 観光の P R	677 万円
■ 商工業者の資金調達の支援	5 千 189 万円
■ 商工会の支援	2 千 16 万円
■ 漁業者の支援	150 万円

地の恵み・地の利を活かした
活力ある産業を育てます

■ ハイブリッド太陽灯の設置	594 万円
■ 資源ごみ、生ごみの回収奨励など	711 万円
■ 資源ごみ、生ごみの回収奨励など	869 万円
■ 荒廃森林の再生	1 千 114 万円
■ 浄化槽設置の補助	1 千 114 万円

その他の主な事業
豊かな自然を愛し環境と
共生するまちをつくります

※ 1 ・ ※ 2 平成 25 年度の決算額です。平成 26 年度に事業の一部を繰り越して実施しています

安全安心

—みんなが安全で安心して暮らせるまち—

海老津駅周辺環境整備プロジェクト

4億8,401万円

重点プロジェクトである「発展するまちを目指した海老津駅周辺環境整備プロジェクト」では、国の補正予算を最大限活用し、海老津白谷線道路整備の実施、自由通路の整備に着手しました。今後も、国の補助制度を活用し、計画的かつ着実に事業の進捗を図ります。



定住促進対策

211万円

子育て世帯や若い夫婦を対象とした住宅取得などの補助制度を設け、JR車内での広告などでPRを行いました。



災害復旧の対応

※2 1億1,015万円

去年の夏の大雨により発生した町道上畑・海老津線の土砂災害や岡垣東中学校グラウンドの法面崩壊などの復旧に向け、対応しました。



町道上畑・海老津線

第2次健康増進計画の策定

520万円

10年間の健康づくりの指針となる「第2次健康増進計画」を策定しました。



今後は、この計画をもとに、町民一人ひとりが取り組む健康づくりや地域での健康づくりを推進します。

道路環境整備

3億1,811万円

道路環境の整備として、「うさぎ坂55」の造成とあわせ、井堀稗田線の整備を行いました。このほかにも、町道の改良、排水路整備



を行いました。また、計画的な橋りょうの維持管理のため、橋りょうの長寿命化修繕計画を策定しました。

その他の主な事業

みんなが安全で快適に暮らせるまちをつくります

■いこいの里の運営

6千919万円

■コミュニティバスの運行など

5千923万円

■公園の整備・管理

1億4千872万円

■情報プラザの管理・運営

7千54万円

みんなが健やかで安心して暮らせるまちをつくります

■自立支援サービスの実施

4億2千34万円

■介護保険事業

3億9千279万円

■介護予防サービスの実施

3千281万円

■がん検診などの実施

2千486万円

■防犯灯の整備

1千74万円

心の豊かさ

—地域を愛し、心豊かな人が育つまち—



校庭の芝生化

3,155万円

学校・P T A・校区コミュニティと連携して内浦小学校、吉木小学校の校庭の芝生化に取り組みました。芝生の水まきや補植、芝刈りなどの維持管理も地域の皆さんに協力いただき、行っています。

岡垣サンリーアイの管理運営など

3億5,305万円

岡垣サンリーアイでは、開館20周年を迎え、幅広い年齢層で楽しめる記念事業を催しました。また、駐車場の拡張を行い、利用者の利便性の向上を図りました。



地域交流センターの運営、文化財展示室の開設

1,500万円

平成25年4月に町の地域交流拠点の場としてオープンしました。地域交流センター内にはボランティアセンターや文化財展示室を開設し、文化財展示室では、ボランティアの皆さんの協力を得て、文化財の展示保管を行いました。



子ども医療費の支援

1億322万円

子ども医療費の支援として、通院費の助成対象を小学校6年生までに拡大しました。



小中学校の耐震化

2,939万円

岡垣東中学校の校舎耐震補強工事を行いました。この工事で、岡垣町内すべての学校施設の耐震化が完了しました。



その他の主な事業

みんなが健やかで安心して暮らせるまちをつくります

■こども未来館の運営

2千579万円

■小中学校の給食の実施

5千650万円

■学童保育の運営

3千926万円

■東部保育所の民間移譲

222万円

地域に誇りを持ち、個性あふれる人材を育てます

■体育施設等の維持・整備など

1千275万円

■上田市への児童訪問

221万円

■公民館講座の実施

385万円

■国際交流事業の支援など

923万円

■まつり岡垣の支援

630万円

計画の推進

自治公民館活動の支援

2,205 万円

各 地域の公民館活動や自治公民館建設のための補助金を交付し、地域活動の拠点である自治公民館での活動を支援しました。



補助金を交付し、整備された公民館

コミュニティ活動の支援

2,750 万円

自 治区や校区コミュニティをはじめとする各種コミュニティ活動の充実のための支援を行い、協働のまちづくりを推進しました。



- 広報の発行など
 - 庁舎の耐震化
 - 職員の研修
- その他の主な事業

194 577 591
万 万 万
円 円 円

岡垣町のPR

496 万円

岡 垣町の魅力を町内外に発信し、岡垣町の認知度を高め、地域の活性化を図るため、町のイメージキャラクター「びわりん&びわすけ」を活用したPRに取り組みました。



町のPRのために取材を受けているびわりん&びわすけ

【特別会計】

会計名	収入	支出	差引
国民健康保険事業	38 億 8,091 万円	39 億 766 万円	△ 2,675 万円
後期高齢者医療	5 億 384 万円	4 億 9,022 万円	1,362 万円
住宅新築資金等貸付事業	298 万円	77 万円	221 万円

※国民健康保険事業の歳入歳出差引不足額は、翌年度歳入繰上金充用金で補っています

【公営企業会計】

会計区分		収入	支出	差引
水道事業	収益的収支	4 億 6,628 万円	4 億 5,888 万円	740 万円
	資本的収支	1 億 5,690 万円	3 億 3,510 万円	
下水道事業	収益的収支	7 億 3,849 万円	6 億 9,663 万円	4,186 万円
	資本的収支	6 億 5,649 万円	9 億 6,605 万円	

※税抜きの金額です。資本的収支の不足額は、公営企業に留保している資金で補っています

特別会計・公営企業会計決算